

二十五回生 牧村（山崎）佳那子

今回は春から夏ごろの句を集めました。  
今年も猛暑の夏になるのでしょうか。  
お互い熱中症には気をつけて、  
楽しい夏を過ごしたいと思います。

佐保姫さほひめや湖うみの細波さざなみさやさやと

佐保姫 春の野山の造化をつかさどる女神  
秋の竜田姫と対になる

ダリア植毛根性物こんじょうものを嫌ふなり

水たくさん飲めと大きく書いて朱夏しゆか

朱夏 暑い夏の日を言いますが

「人生の真つ盛りの年代」のことも意味します

ソフトクリーム舐め頂上の真つ平ら

後悔や真つ白な蛾の苔に降り

黄泉よみの道夫が水を打ってゐる

パセリ食はみ少女の男言葉かな

用ありて用忘れたる春の蔵

伊豆の山逆さに見つつ髪洗う

朝顔や何も無き日を紅薄く

